

令和4年度 学校アクションプラン

龍谷富山高等学校

重点項目	1. 教科指導
重点課題	生徒の学習意欲を高めるとともに、自主的に学習活動を進めていく生徒を育てる。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学習課題を見つけ、意欲的に学習活動に取り組む生徒が少ない一方、学習課題を与えると真面目に取り組む生徒は多い。 ・平日、休日を通して学習時間はあまり多くない。 ・目標を持って学習時間を確保し、学力向上に向けて取り組もうとする意識の向上が必要。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・70%以上の生徒が家庭での学習時間を昨年度より増やすようにする。 ・指導と評価の一体化を図る。70%以上の生徒が学期末の評価に納得できるようにする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・評価に直結する課題を提示するように努める。 ・評価の基準を明確にし、生徒に理解させる。特に観点別評価において。

重点項目	2. 宗教教育
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「学園の心」の具現化に努める(自分の内側にある思いを言語化・行動化する)。 ・慈光堂や教室内で合掌する姿を美しく保つこと(beauty of form＝様式美)を、常に意識する。 ・報恩献金・募金活動の活性化
現 状	慈光堂を本校における「中心となる場所」「特別な場所」として、教員・生徒ともに認識していることが、礼拝の態度から感じることができる。
達成目標	慈光堂では、教員・生徒ともに、人の話に耳を傾ける時間・心を落ち着かせる時間であることを、共通認識とする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・各種礼拝で、多くの教員に講話の機会を持ってもらい、宗門校の教員であるという意識を高めるとともに、生徒に「気付き」を与えられるような講話を提供する。 ・「報恩の日」に生徒(3年生)が話す機会を設けることで、生徒自身が同世代の思いや考えを知り、己の日常に刺激を与えるきっかけとする。 ・行事は特別な時間であることを生徒に意識させるため、移動時(入堂前)から静かにする、正装(ブレザー着用)で臨む、念珠を持参する等、担任が教室での指導を徹底する。 ・行事や礼拝前に、報恩献金の意義について話す。

重点項目	3. 進路指導
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意欲の向上と進路実現に向けた進路指導 ・特進コースの授業改善(授業進度・課題・入試分析)
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に対する向上心があまりない生徒は、現状で満足した進路先を選択してしまう傾向にある。 ・進路目標達成のために必要な学習時間や学習量を確保できない生徒がいる。 ・授業進度に遅れがあった場合は、模試等で対応できないことがある。 ・毎日の家庭学習量が学力の定着度に十分結びついていない生徒がいる。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導に対する満足度90%以上 ・進路実現に向けて努力した生徒80%以上 ・模試範囲・入試問題を意識した授業内容にする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒の適性や能力を詳細に把握するとともに、生徒自身にも自覚を持たせる。 ・的確な進路情報とともに生徒の学習環境の把握や学力分析を行ないより適切な進路支援につなげる。 ・模試範囲を意識した授業進度・内容を行うためにも、効果的に課題に取り組ませる。 ・龍富塾(放課後指導)及び朝学習に積極的に取り組ませ、定着度を高めていく。

重点項目	4. 生徒指導
重点課題	あいさつとコミュニケーション
現 状	コロナ禍以降、あいさつの質が低下している。 大きな問題行動は減少しているが、生徒間トラブルや、制服の着こなしの乱れがある。 ベル着に温度差がみられる。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・さわやかな身だしなみ ・時間厳守（5分前行動） ・いじめ0 ・交通安全（事故防止）
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・教員から日本一の挨拶を目指し生徒に範を示す。 ・身だしなみ指導の徹底。 ・チャイムと同時に授業を開始する習慣の構築。 ・学園生活調査や面談等を通して生徒とのコミュニケーションをとり生徒の把握に努める。 ・毎月15日を「さわやかな日」と設定し、朝のあいさつや声掛けを通して登校時の生徒を把握する。

重点項目	5. 特別活動
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動（ホームルーム活動・学校行事）や生徒会活動、委員会活動、部活動等を通して、自主性・責任感・協調性・計画性・実行力を育成する。それとともに、他の生徒の活躍や活動に興味をもち、本校生徒としての一体感をもたせる。 ・昨年から実施している「RYUTOMI SDGs ゴール∞(エイト)」の内容の周知に努め、その内容を意識して学校生活を送ることのできる生徒の育成に努める。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、生徒会活動などに意欲的に取り組み、充実した学校生活を送る生徒がいる一方で、何となく毎日を過ごしている生徒もいる。 ・他の生徒の活躍への関心があまり高くない生徒がいる。 ・回収運動への意識の高い生徒は限られる。 ・体育大会などの学校行事への関心は高く、積極的に取り組む生徒が多い。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事（体育大会・文化祭など）には生徒・教職員全員で協力して取り組む。 ⇒学校行事の満足度70%以上。 ・他の生徒の活動や活躍に関心をもつ。 ・「RYUTOMI SDGs ゴール∞(エイト)」の内容を周知徹底させ、回収運動を活性化させる。 ⇒回収量の目標：昨年度比120%。 ・生徒会活動及び委員会活動を活性化させる。 ・部活動への加入率を上げる。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や体育大会などの学校行事について、代議員会を開催し、生徒の考えや希望を把握する。可能な範囲で生徒の意見を反映した内容で実施する。 ・生徒の諸活動（受賞・代議員会・委員会）について、掲示物を充実させ、他の生徒の活動に関心を持たせる。 ・回収運動では、引き続き毎月集める種類を決め、積極的に呼びかける。回収物をこまめに回収業者に送り、回収量を把握しやすくする。 ・生徒会会長選挙を実施したことにより、一般生徒の生徒会に対する関心が高まると考えられる。生徒会活動への関心を持続するため、「RYUKOKU TIMES」などを活用し、活動内容を分かりやすく伝える。

重点項目	6. 環境と健康指導
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や各種活動が落ち着いて取り組めるための環境管理（美化）に加え、非常時に自分の身を守ることができる危機管理（防災、防疫）の両面についての意識向上を図り、実践（行動化）につなげることで校内外の環境整備を図る。 ・「自分の健康（命）は自分で守る」という意識を向上させ、将来にわたって健康な生活が送れるよう、疾病予防や健康の保持増進に努める態度を身に着けさせる。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎・施設を自らきれいにしようという積極的な清掃活動につなげるために、美化意識の向上が飛鳥である。 ・新型コロナウイルス感染症に対する慣れに加え、県の指標もステージ1になったことによる気の緩みから、予防対策や行動意識の低下が目立つようになってきた。 ・健康診断後の受診率が高くなく、自らの健康への意識を高める必要がある。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「きれいな学校・気持ちの良い学校・安心して過ごせる学校」を目指し、常に整理整頓が行き届き、丁寧な清掃活動や進んでゴミを拾う姿などが日常化する学校を目指す。 ・学校内において、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症クラスターを発生させない。 ・健康診断後の受診率の向上を図る。（目標値 各学級…40%以上、各学年及び全校…30%以上）
方 策	<p>テーマは「共働と教師の背中」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担当箇所の清掃は生徒だけに任せず、教員も一緒に清掃活動を行い、自分たちだけが、させられている」という意識を持たせない。 清掃終了後は、必ず点検を行う。また、労いの言葉をかけられることで「次も頑張ろう」という実践意欲につなげることができる。 ・校内外の環境美化については、特活部（美化委員会、運動部）等と協力して行い、意識化を図る。 ・感染症を含めた疾病予防のための基本行動（清潔保持、咳エチケット、早期受診、休養など）を自ら実践できる態度と意識の喚起に努める。 ・健康診断後は、受診カードを生徒に配布し受診勧奨するとともに、学期末の保護者懇談会の機会を捉えて保護者に対しても受診行動への喚起を行う。定期的に受診状況を集計し周知する。 運動部員については、各顧問からの受診勧奨も併せて行う。 ・健康に関する情報提供と知識の向上のため、「ほけんだより」を発行する。 ・外部講師による保健講座の開催。（今年度は性教育講座の予定、2・3年生は昨年度未受講分の献血セミナーも実施）